

令和8年度

歴史講座

今年の「歴史講座」も充実の内容です。是非、お誘い合わせのうえお申し込みください。

【第1部】忘れられた市内の史跡

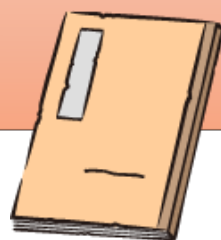
～高海親王伝承と高海谷の真実～

・講師：海保 孝則氏（前市図書館室長・学芸員）

・日時：11月21日（土）14:00～16:00

・【概要】

大網白里市周辺ではかつて大規模な宅地造成やゴルフ場建設、さらには道路改良事業などに伴い、各所で発掘調査が実施されていきました。例えば、季美の森だけで1000軒以上の竪穴住居が確認されました。これらの発掘調査は現在では整理作業も完了し、その成果として発掘調査報告書がまとめられています。一方でこれらの調査成果を歴史資料として活用しようという試みは比較的低調なものとなっています。今回はこれらの発掘調査成果をとおり、奈良・平安時代の上総国東部の状況、さらにそこから日本全体の歴史を見つめ直します。



【第2部】近世城下町の祭礼

～江戸天下祭と佐倉城下麻賀多明神祭礼を素材に～

・講師：白谷 茉莉氏（千葉県文書館）

・日時：12月11日（金）14:00～16:00

・【概要】

近世の江戸城下で隔年に行われた山王権現と神田明神の祭礼は「天下祭」と呼ばれ、幕府公認の祭礼でした。同じ時代、地方城下町の下総国佐倉で行われていたのが、現在佐倉の秋祭りとして知られる「麻賀多明神祭礼」でした。本講座では江戸と佐倉の祭礼を素材に、史料を参考にしながらさまざまな祭礼の姿を辿ります。

会場：大網白里市保健文化センター 3階ホール

定員：各回60名（事前申込制）

対象：テーマに関心のある方

参加申込受付中！

※ご希望の回のみのお申し込みも可能です

※定員に満たない場合は、当日のお申し込みを受け付けます

参加費
無料

【申込み・問合せ先】

大網白里市図書館 〒299-3251 大網100番地2

電話 0475-72-8383（開室時間：9:00～17:00 月曜・祝日は休室）

【申込フォーム】



（申込方法について）

QRコードから申込。又は窓口・電話にて承ります。



図書室より、講座に関連する情報等を少しだけご紹介します。
日本の歴史や郷土史等について興味のある方は、是非お気軽にご参加ください♪

第一回「忘れられた市内の史跡」を少しだけ予習



地理院地図(電子国土WEB)

地名に残る古代の形跡

市内金谷郷には“高海”と名付けられた小字が存在しており、地図内の「高海谷」には高海寺跡として遺跡に指定されている場所があります。高海寺は古代の皇族に所縁のある寺院だったようです。

土気金城

現在の千葉市域にある土気城は戦国時代に土気酒井氏が居城した城として知られていますが、その前身は8世紀に築かれた土気金城と伝わります。講座内では周辺の遺跡と比較しながら古代の土気金城の果たした役割等についても考察します。

歴史学から見た
祭り

第二回「近世城下町の祭礼」を少しだけ予習

麻賀多神社とは

多氏族の氏神として祀られていた麻賀多神社は、江戸時代に佐倉城が築かれると城地鎮守の神として歴代藩主や家臣にあつく崇敬され、現在も佐倉の総鎮守として大切にされています。麻賀多神社で行われる祭礼は佐倉の秋祭りとして広く知られ多くの人でにぎわいます。

麻賀多明神（神社）の祭礼

近世の麻賀多明神祭礼は「神事」と「ねり祭」の部分に分けることができます。近世後期に至っては、藩主が神事に関与する一方、ねり祭は町方が中心となり運営していたようです。ねり祭、つまりは“大衆向けのイベント的な部分”の執行のあり方、その方法と規模は町方の決定に委ねられていました。



(このページの参考資料等)

- ・「角川日本地名大辞典」編纂委員会『角川日本地名大辞典 12千葉県』角川書店、昭和59年
- ・山武郡教育会『山武郡郷土誌』崙書房、昭和51年
- ・地理院地図(電子国土WEB)

<https://maps.gsi.go.jp/#17/35.537906/140.302034/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>

- ・千葉県神社名鑑刊行委員会『千葉神社名鑑』千葉県神社庁、昭和62年
- ・白谷茉莉「近世中後期における中規模城下の祭礼-下総国佐倉城下麻賀多明神祭礼を素材として-」
(『千葉史学』(71)千葉歴史学会、平成29年)

今年の歴史講座も充実の内容です。是非、お誘い合わせのうえお申し込みください。